

学習 ①自分の価値観に従って登場人物の好感度による順位をつけることができる。

課題 ②自分と他人の価値観の違いを知り、話し合いを通して班の価値観をまとめることができる。

【0】タイムテーブル

0～10分：課題の把握と物語を聞く。

35～45分：発表

10～20分：個人で登場人物の順位とその理由を書く。

45～50分：まとめ

20～35分：グループで討論しながら順位とその理由
をまとめる。

【1】「価値観」って何？

物事を評価する際に基準とする、何にどういう価値を認めるかという判断。

価値（善・悪、好ましいこと・好ましくないこと、といった価値）を判断するときの根底となるものの見方。

【2】「若い女性と水夫」の話に出てくる5人の登場人物について、最も好感が持てる人を1、最も好感が持てない人を5として、1から5まで順位をつけてください。なおその際に理由も書いてください。

若い女性 順位（ ）

理由

フィアンセ 順位（ ）

理由

水夫 順位（ ）

理由

老人 順位（ ）

理由

フィアンセの友人 順位（ ）

理由

若い女性と水夫

嵐に遭遇して一隻の船が沈没した。その船に乗っていた人たちの中で、運良く 5 人が二隻の救命ボートに乗ることができた。一隻のボートには水夫と若い女性と老人の 3 人が、もう一隻には若い女性のフィアンセ（婚約者）とその親友の 2 人が乗りあわせた。悪天候のもとで波に揺られるあいだに二隻のボートは別れ別れになってしまった。

若い女性の乗ったボートが、ある島にたどりついた。フィアンセと離ればなれになった彼女は、フィアンセが生存している手がかりをつかもうとしてもう一隻のボートを探したが、何の手がかりも得られなかった。翌日になって天候が回復したが、相変わらずフィアンセの行方は分からなかった。

彼女がなおも諦めきれずに見ていると、海のかなた遠くにひとつの島かげを見つけた。彼女は矢も盾もたまらず、フィアンセを探したい一心で水夫に「ボートを修理して、あの島に連れて行って下さい」と頼んだ。水夫は彼女の願いに応じてもよいと言ったが、一つ条件を持ち出した。それは彼女と一夜を共にするということだった。

がっかりし、困り果てた彼女は、老人に「私はどうしたらいいか、何かよい方法を教えて下さい」と相談をもちかけた。老人は「何があなたにとって正しいのか、あるいは何が間違っているのか、私は言うことができません。あなたの心にきいて、それに従いなさい」と言うだけだった。彼女は悩み苦しんだ挙げ句、結局水夫の言う通りにした。

翌朝、水夫はボートを修理して彼女をその島に連れて行った。フィアンセの姿を遠くから見つけた彼女は、浜辺に着くや遅しとボートから飛び出し、そこにいるフィアンセの腕に抱かれた。フィアンセのあたたかい腕の中で彼女は昨夜のことを話そうかどうか迷いましたが、結局思い切って打ち明けることにした。

それをきいたフィアンセは怒り狂い、彼女に「もう二度と顔を見たくない！」と叫びながら走り去った。泣きながら彼女はひとり浜辺に降りていった。

彼女を見たフィアンセの親友は彼女のところに行き、肩に手をかけて「君たち二人がケンカをしたことは僕にもよく分かる。フィアンセに話をしてあげよう。それでしばらくの間、私があなたの世話をしてあげよう」と話した。

【備考】